

令和2年度 事業報告、財産目録及び計算書類

(別 冊)

【事業報告】

- | | | | |
|------------------|------|---|------|
| ①早良厚生園事業報告 | P 1 | ～ | P 10 |
| ②四箇厚生園事業報告 | P 11 | ～ | P 24 |
| ③白糸農園事業報告 | P 25 | ～ | P 38 |
| ④S u n S u n事業報告 | P 39 | ～ | P 43 |

令和2年度 早良厚生園 事業報告（案）

1. 基本方針

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、4月7日から5月6日まで非常事態宣言が出されました。小中学校は休校になり社会生活が外国のロックダウンさながらな状況になったのは、記憶に新しいところです。千葉県障がい者支援施設でクラスターが発生し、施設でのクラスター発生の恐ろしさを感じました。年度当初から「施設にコロナウイルスを持ち込まない」を合言葉に、職員には様々なところで自粛をお願いしてきた1年でした。面談を中止に、ゴールデンウィーク、お盆、お正月と帰省を中止にさせて頂き、利用者の皆さんには大変つらい思いをさせてしまいましたが、お陰様で職員、利用者様ともに新型コロナウイルスには罹患されていません。行事を大幅に縮小し、地域の方との大切な交流の機会の「ふれあいまつり」を中止としましたが、コロナ禍の状況でどのようにしたら、利用者様の笑顔がたくさん見られるか、地域貢献が出来るかを職員とともに工夫し日中活動を行ってきました。下半期には、Webを利用した面会を始め、少しでも利用者様や保護者様のストレスを解消する方法を模索しながら、事業運営を行ってきました。

つどい（生活介護・施設入所）では、外出や外泊が出来なくなった状況の中で、どのように利用者の皆さんのストレスを軽減できるかを考え、ルーム活動の充実や、季節ごとのホールの飾りつけ、三密を避けて主要行事を実施するための企画を担当職員中心に立案し実施しました。

きらめき（就労継続支援B型）では、在宅ワークの希望者については、1日2回の電話連絡を行い家庭での状況把握に努めました。コロナ下ではありましたが、切り干し大根の生産活動は順調に行い、12月からは、出荷も始まりました。つどいとの接触を避ける活動の工夫を行い、給料日の外食も希望に応じて、地域のテイクアウトを利用しました。

つどい（グループホーム）につきましては、地域生活という現状の中でどのようにしたら、感染リスクを減らすことが出来るのかを考え、コロナウイルスの感染予防について利用者様への声掛けや学習を行いました。期中「ゆめホーム」の利用者様を「こすもすホーム」へ移動していただき、「ゆめホーム」のサービスを休止しました。

重点目標についての報告をします。

(1) 社会生活支援の充実

・地域でのイベントや、交流が無くなる中、人権フェスタにつきましては、

入部公民館で行われたポスター発表に参加し、施設の紹介を地域の皆さんへ行いました。

(2) 職員の人材確保・育成

- ・人材確保につきましては、中途採用者を中心に採用活動を行い、期中男性正規職員2名の採用に繋がりました。育成につきましては、研修会がほぼ中止の状況の中、Webでの研修会等を活用し研修を行いました。実習生の受け入れや、各養成校の訪問については出来ませんでした。

(3) 社会貢献活動・地域貢献活動への取組

- ・地域の清掃活動への参加は、コロナウイルスの感染状況を見ながらの参加になりましたが、参加した際は、地域の方との交流に努めました。
- ・グループ活動の時に出来るだけ地域の飲食店から昼食をテイクアウトし、食べるボランティアに努めました。
- ・県経営協議会等の団体が取り組む貢献活動（ふくおかライフレスキュー事業）については、会議等の開催も少なくレスキュー活動もありませんでした。

2. 支援目標

2020年は、新型コロナウイルスの影響により、限られた中での支援でより利用者様に満足いただけるかという思いで支援を行なって参りました。今後も引き続き、感染防止に努め、高齢に伴う身体の状態を考慮しながら進めて参ります。

以下、各事業のご報告を致します。

(1) 日中活動サービス事業

① 生活介護事業「ぬくもり」

2020年度は新型コロナウイルスの影響で活動や行事に制約がかかり、外出や旅行にも行けず、利用者様に大きなご負担をかけてきました。行事に関しては、出来るだけ密を避けた状態で、可能な限り楽しんで頂けるように工夫を行ってきました。また、高齢化については身体機能や体方面、認知症への対応を体操や脳トレを行いながら維持・向上を図っています。介護保険事業所への移行に関しては、コロナウイルスの影響により、要介護認定や施設見学などの移行の動きをとる事が出来ておりません。また、早良厚生園での生活が困難になっている状態でも、要介護認定3以上（特別養護老人ホームに入所可能）という数字が出ない状況

も続いており、今後も介護保険サービス事業所の方々との関係作りも行っていきながら、利用者様が介護保険事業所に移行するまでの間に必要な介護保険、予防や介護の知識や技術を習得して参ります。

② 自立訓練（生活訓練）「翔」

昨年度は特別支援学校へ十分な案内活動ができませんでしたが、幸い1名の方が新年度を前に3月より利用して頂く事となりました。今後も支援学校への関りを多く持ち、次年度へ向けて、実習等の受け入れに努め利用に繋げて行きます。

③ 就労継続支援B型「きらめき」

昨年度に引き続き、大根作付け時期の天候不良等で、計画通りに進める事が出来ず、発育も日照不足等で芳しくなく、収穫量に影響があるかと心配しておりましたが、畑に植え付けた分、全てを収穫し加工する事が出来ました。また、増加した学校給食の切干大根も出荷する事ができ、今後も安定した納品量を目指して行きます。尚、直売所「博多じょうもんさん」での売れ行きも好評であり、引続き、商品を切らず事無く出荷する事を継続したいと思っております。

委託事業であるリサイクル作業の代わりとなる作業を、現在も色々と試行錯誤しながら模索中であり、早期に安定した作業の提供を目指したいと思っております。今後も、コロナウイルス感染症対策を講じながら、利用者さまの「就労の場」としての意欲向上や環境整備を図って参ります。

④ 居宅支援事業（日中一時支援、短期入所）

新型コロナウイルスにより、館内への感染防止の為、利用をお断りしながらも状況報告も兼ね、定期的に利用者様宅への連絡等を行なって参りました。未だ、再開等の見通しがありませんが、引き続き、利用者様の状況等の連絡、関係を取りつつ、繋がりが切れない様に対応していきたいと思っております。

(2) 施設入所支援

計画に則り、利用者様が毎日、安心して過ごして頂けるように生活面を元に健康面や安全面を重視しながら支援を行ないました。日常動作面においては年々、身体的機能の低下が見られている為、細かい観察を行ない、小さな気付きから、配慮や改善を重ねながら極力、事故が防げるように支援して参りました。今後も事故等には未然に防止できる様に努めなが

らも引き続き、職員も笑顔を絶やさず、明るい雰囲気の中、支援を行なって参ります。

(3) 共同生活援助（グループホーム）「つどい」

昨年はコロナ感染対策により、いろんな規制の下、不要不急以外の自由な外出を控えて頂き、職員引率での買い物支援や余暇支援を徹底する事でストレス解消を行なって参りました。利用者様へは感染防止という事で、ホーム内で過ごされる機会が増え、今まで食事以外になかなか皆さんが揃わない中、普段味わえない様な家族的な雰囲気での催しを行なう事ができました。また、「こすもすホーム」「ゆめホーム」においては以前より定員が満たらず、女性利用者を募集して参りましたが結果が得られず、8月に女性グループホームの「ゆめホーム」の皆さんを「こすもすホーム」へ移動して頂きました。「ゆめホーム」につきましては一旦休止とし、再開を目指し進めて参ります。

(4) 指定特定相談支援事業 あらひら

四箇厚生園の利用者様へサービス等利用計画書を元に主に継続サービス支援（モニタリング）を行ないました。今後も利用者の方の立場になり、ご本人や支援者からの聞き取りを大事にし、計画相談を進めて参ります。

3. 医務支援

(1) 健康管理

① 健康診断の実施

4月に福岡市初の緊急事態宣言が出されることとなり、当初5月12日に職員健康診断(利用者は血圧検尿のみ)、10月に利用者及び夜勤対応職員の健康診断を予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防対策委員会で検討し延期致しました。利用者は部外者との接触機会を減らすため血圧・検尿のみの検査は中止。8～9月に職員は分散して医療情報健康財団クリニックへ受診して頂きました。その後も福岡市では感染拡大が懸念されていた為、健康診断を実施する業者の体調確認や人数を絞り、利用者はマスク着用、3密を避ける、手洗い、手指消毒の徹底を図る等対策を行い、11月25日夜勤対応職員と利用者の健康診断を実施致しました。

② 嘱託医による定期診察

嘱託医来園時に検温と体調確認を実施。換気の徹底、3密にならない、

利用者のマスク着用、手洗い・手指消毒の徹底を図る等、感染予防対策を講じて月1回診察を行いました。診察時は利用者ご本人から体調の報告や、職員からは日常生活の状況・体調変化等を報告。多職種で情報共有を図り、嘱託医と連携し利用者の体調管理を行うことが出来ました。

③ かかりつけ医への定期受診と臨時受診

かかりつけ医への定期通院は月平均50件、臨時通院は月平均1～3件（外科・耳鼻科・皮膚科等）、予定入院（白内障手術等）3件、緊急入院（発熱や精神不安定等）は4件でした。新型コロナ感染防止の為、体調が安定している利用者様についてはできるだけ受診を控え、看護師が病状報告し、定期処方を受けるなど内服薬や体調の管理を行った。

（2）園内感染の予防

2020年4月2日新型コロナウイルス感染予防対策委員会を設置。職員は園内マスク着用、手洗い・職員はアルコール消毒を携帯し手指消毒を徹底、県をまたぐ外出や外食等の制限、出勤時の検温を実施しました。体調変化時は速やかに上司に報告し出勤中止や退勤する等の水際対策を実施しました。また、国・行政からの行動指針等を園内にポスター掲示し職員の感染予防意識を高めました。10月21日職員及び利用者様にインフルエンザ予防接種を実施。結果として職員・利用者ともにインフルエンザやノロウイルス、新型コロナの感染はありませんでした。

（3）職員の労働衛生管理

- ① 月1回（第3水曜日）産業医と労働衛生管理委員会を実施。委員会参加人数を3～4名に絞り、3密を避け実施。主に新型コロナウイルス感染予防対策では就業時間の変更等で産業医にも意見を頂き検討を行いました。
- ② 職員健康診断及びストレスチェックの結果を確認。健康診断で再検査の必要がある職員にはそれぞれ書面で再検査の促しを行い、対象職員すべて再検査を受けて頂いています。

4. 給食業務重点目標結果報告

利用者様の健康管理を重視して給食委託業者と栄養面、食材、調理法等を

吟味して提供し、衛生管理と共に食中毒予防にも努めました。
従事者の衛生管理、原材料の取り扱い等、調理においては委託業者の会社規則に基づき、徹底して行なって頂きました。給食実施面では隔月に利用者様や現場支援員の意見と共に係長、栄養士と委託業者の栄養士、マネージャーを交えての給食委員会を行ない、食材やメニューの改善等の検討を行ないました。また、合わせて利用者の食の状況に合わせた調理（粥食、刻み食、ペースト食、トロミ、減塩等）の配慮や対応を行ないました。また、週に2回楽しみにされているパンのジャム等においては数種のデイスペンパックや低糖質のマービージャムを準備し、利用者様に選択の楽しみができて喜んで頂いております。新型コロナ感染対策については一昨年同様に感染拡大防止の為、入所利用者様と通所利用者様との行き来はもちろんの事、食事場所を分けての対応と静養時や隔離対応時用の使い捨て容器の追加購入等、スムーズな対応ができる様にと準備を行ないました。

1. 令和2年度 職員異動状況
(1)職員異動状況

令和3年3月31日現在

| | 期首 | 採用・異動 | 退職・異動 | 期末 |
|--------|----|-------|-------|----|
| 施設長 | 1 | | | 1 |
| 事務員 | 4 | | | 4 |
| 支援員 | 37 | 4 | 3 | 38 |
| 看護師 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 栄養士 | 1 | | | 1 |
| G・H世話人 | 3 | | 1 | 2 |
| 計 | 47 | 5 | 5 | 47 |

(2)退職・異動

| | | | | | |
|-----|------|---------------|-----|------|----------------|
| 世話人 | 池松康子 | 令和 2年 8月 31日付 | 支援員 | 松本優里 | 令和 2年 12月 31日付 |
| 支援員 | 瀬内明美 | 令和 3年 1月 15日付 | 支援員 | 岩川拓馬 | 令和 3年 3月 31日付 |
| 看護師 | 梶原嘉世 | 令和 3年 3月 31日付 | | | |

(3)採用・異動

| | | | | | |
|-----|------|--------------|-----|------|---------------|
| 支援員 | 長岡淳史 | 令和 2年 4月 1日付 | 看護師 | 梶原嘉世 | 令和 2年 5月 1日付 |
| 支援員 | 工藤幸雄 | 令和 2年 8月 4日付 | 支援員 | 山下智弘 | 令和 2年 12月 2日付 |
| 支援員 | 益田海祐 | 令和 3年 3月 1日付 | | | |

2. 利用者状況

(1)施設入所支援利用者年齢状況

令和3年3月31日現在

| 年 性別 | 18~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 | 70~79 | 80歳以上 | 計 | 平均年齢 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|------|
| 男性 | | | 1 | 4 | 6 | 9 | 5 | 3 | 28 | 62.9 |
| 女性 | | | | 1 | 4 | 8 | 6 | 2 | 21 | 65.6 |

(2)施設入所支援利用者障がい支援区分

| 区 分性別 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 合計 |
|----------|---|---|---|----|----|----|----|
| 男性 | | | | 10 | 10 | 8 | 28 |
| 女性 | | | | 3 | 8 | 10 | 21 |
| 計 | | | | 13 | 18 | 18 | 49 |

(3)施設入所支援利用者所在期間

| 期間 | 1年未満 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|----|------|----|----|----|----|----|----|------|--------|----|
| 人数 | 3 | | 1 | 1 | | 1 | 6 | | | |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | 1 | 1 | | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28以上 | 平均所在期間 | |
| | 1 | | | 1 | 15 | | | 12 | 20.7 | |

(4)ぬくもり(生活介護)利用者異動状況

| | 期首 | 入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|----|----|----|
| 男性 | 24 | 3 | 0 | 27 |
| 女性 | 20 | 0 | 0 | 20 |
| 計 | 44 | 3 | 0 | 47 |

(5)きらめき(就労継続支援B型)利用者異動状況

| | 期首 | 入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|----|----|----|
| 男性 | 17 | 0 | 0 | 17 |
| 女性 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| 計 | 21 | 0 | 0 | 21 |

(6)翔(自立訓練)利用者異動状況

| | 期首 | 入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|----|----|----|
| 男性 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(7)つどい(共同生活援助)利用者

| ホーム名 | 現在員 | 性別 | 開設日 | 備考 |
|---------|-----|----|------------|--------------------------|
| 第一田隈ホーム | 4 | 男性 | 平成16年1月1日 | 就労継続支援B型2名、生活介護1名、他事業所1名 |
| こすもすホーム | 6 | 女性 | 平成16年12月1日 | 就労継続支援B型3名、他事業所3名 |
| ゆめホーム | 0 | 女性 | 平成18年1月1日 | 令和2年8月に、こすもすホームへ移動 |

令和2年度

早良厚生園

年間主要行事实績表

| 月 | 行事名 | 備考 |
|----|-----------------------------------|-------------------------------|
| 5 | | ・職員との交流会 (6月のレクリエーション会にて) |
| 6 | ・レクリエーション会・職員交流会 (6/29) | |
| 7 | ・七夕会 (7/7) | |
| 8 | | ・夏祭りは10月へ延期 |
| 9 | ・敬老祝賀会 (9/18) | |
| 10 | ・夏(秋)祭り (10/2) ・ハロウィン会 (10/30) | |
| 11 | ・焼き芋会 (11/27) | ・選択外出は焼き芋会へ変更 |
| 12 | ・クリスマス会 (12/25) | |
| 1 | ・新年会 (1/12) | |
| 2 | ・節分祭 (2/3) | |
| 3 | ・お花見会 (3/30) | ・花見ドライブは園内花見会へ ・避難訓練(3/30) |

研修実績表

| 開催日 | 主題 | 主催 | 参加者 | 場所 |
|-------|------------------------|----------------|----------|----------|
| 10/26 | 令和2年度 福岡県サービス管理責任者更新研修 | (公財)総合健康推進財団 | 牛尾 | 南近代ビル |
| 10/30 | 令和2年度 労務管理 | 福岡県社会福祉協議会 | 牛尾 | クローバープラザ |
| 11/18 | 就労支援フォーラムNIPPONフクオカ | 日本財団 | 栴田・進藤・青木 | オンライン |
| 12/21 | 令和2年社会福祉施設保健衛生講習 | 福岡市早良区保健福祉センター | 鬼倉 | オンライン |

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の為、開催が少なくなっています。

令和2年度 サポーターズカレッジ

オンライン研修 受講状況

令和2年11月～12月分

| 受講者 | | 受講講座名 |
|--------|---|-------------------------------------|
| 長岡 淳史 | 1 | 行動療法の概論 |
| 林 靖子 | 1 | 行動療法のアプローチ |
| | 2 | 行動療法の概論 |
| | 3 | 事例で考える金銭管理のプランニング |
| 草野 ふみ子 | 4 | 金銭管理支援に関する制度・サービス |
| | 1 | からだところの老い |
| | 2 | Q & A 通信 「高齢知的障害者」障害者総合支援法と介護保険制度 他 |
| | 3 | 高齢期の生活課題を改めて見直す |
| 白坂 飛鳥 | 4 | 認知症と知的障害高齢者 |
| | 1 | 障害者虐待はなぜ起こるのか |
| | 2 | てんかんの発作への対応 |
| | 3 | 日常的感染対策 |
| | 4 | 事例から行動療法の適用を考える |
| | 5 | 自立支援介護と身体的自立 |
| 田中 洋子 | 6 | ICTを活用して苦手を克服 |
| | 1 | 個別支援計画の目的を確認する |
| 梶原 嘉世 | 1 | スタンダードプリコーション |

令和3年1月～2月分

| 受講者 | | 受講講座名 |
|--------|---|--------------------|
| 田中 洋子 | 2 | 障害者虐待とは |
| | 3 | アセスメントから計画立案まで |
| 白坂 飛鳥 | 7 | 障害者とのコミュニケーション |
| | 8 | 個人情報保護法の理解 |
| 草野 ふみ子 | 5 | 相談支援事業とは |
| | 6 | 支援者の自己覚知とセルフマネジメント |
| | 7 | 精神障害者の支援 |

令和3年3月分

| 受講者 | | 受講講座名 | |
|-------|------|---------------------------------|----------|
| 田中 洋子 | 4 | クライシスマネジメントとは | |
| | 5 | 個別支援計画の重要性 | |
| | 6 | 精神障がいのある方々を対象とした社会生活力プログラム | |
| | 7 | 知的障がい・発達障がいのある方々を対象とした社会生活プログラム | |
| | 8 | 接遇対応12ヶ条 実践のコツ | |
| | 9 | 支援者のマナー | |
| | 10 | コトバの"外化"が成長マインドとなる | |
| | 11 | 障がい者支援と支援者への期待 | |
| | 12 | 障がい者ってどんな人？ | |
| | 13 | 自分の中にある経験知で考えるときの落とし穴 | |
| | 13 | 個別支援計画の重要性 | |
| | 林 靖子 | 14 | アセスメントとは |
| | | 5 | 就労支援の視点 |

令和2年度 四箇厚生園 事業報告書（案）

1. 基本方針

令和2年度は、四箇厚生園を開設して4年目になることから経営の安定と四箇田校区に必要とされる福祉施設としてあり続ける為にも地域交流の拡充を目指して遂行するつもりでしたが、新型コロナウイルス感染拡大により縮小、あるいは中止をせざるを得ない状況に至りました。また、昨年3月から面談日、外泊を中止し利用者の方には寂しい思いをさせたかと思いますが、これも利用者の命を守る手段と施設全体の感染リスクから遠ざける目的で実施し今現在も継続している状況でございます。

経営的には、施設入所利用者の欠員もなく満床でありましたが、2名の利用者が3、4カ月の入院と通所利用者が通院や外部サービスの利用する事で感染利率が高くなることから数日間での自宅待機をして頂きましたので予定していました数字目標には届きませんでした。しかしながら職員を本年度中に増員し直接処遇職員配置を2.0：1人から1.7：1人にした事により手厚い利用者処遇支援の充実を図り、個別支援計画に沿った支援を行って参りました。

人材確保（2021年4月採用）につきましては、マイナビの利用や就職フェアに参加致しました。その結果、男性1名、女性3名の正規職員採用に繋がりました。

2. 重点目標報告

(1) 支援目標報告

障害者総合支援法に則り、各事業の体制を再確認し、利用者様のリアルニーズを把握しながらサービス等利用計画に沿って個別支援計画を作成し支援を行って参りました。

【生活介護事業】（定員58名 現在員59名）

日中活動の中で、サービス管理責任者が作成した個別支援計画を基に、支援スタッフが、活動内容を計画し、スタッフ一人ひとりが、自分たちの施設を自分たちで作るという意識のもと、主体性を持って取り組む事が、4年ほ

ど掛かりはしましたが、少しずつ形になってきたと思っています。

コロナ禍で、一時は、活動内容も縮小するなどしなければならぬ場面もあり利用者さんには、かなりのご不便をおかけしました。また、利用者さんの表情や生活の充足度などを見ていると、改めて活動の重要度というものをスタッフ全員が認識するいい機会になったと前向きに考えています。

利用者の方々には、不便や制約を設ける事ばかりでしたが、コロナ禍でも出来る事を考えて活動する一年となりました。

またこの一年間、手洗いやマスク着用など、今まで支援として、行わなかった部分にも着目して丁寧に支援を行う事が出来ました。

【施設入所支援事業】(定員50名 現在員50名)

個室の居心地の良さに、活動などに参加出来ない利用者様が少しずつですが、増えてきている傾向にあります。また、居心地の良さから、結果意図しない居室内で孤立するような場面も見られ、孤立しない環境づくりを充実させていくなどの対策を行うなどし、今後は、認知症の発症予防に力を入れていきたいと思えます。

【居宅支援事業】

① (空床利用型短期入所)

現在、入所定員が満員となり、空室がない為、事業を行う事は出来ておりません。現在入所しておられる利用者様の身元引受人の方々に、利用者様に入院が必要となった場合においては、居室を一時的に開けて頂き、短期入所として利用させて頂く旨の合意を取り交わすことが出来ています。コロナ禍という事もあり、当面の受け入れは難しいと考えています。

② (日中一時支援事業)

平成30年1月より事業認可を受けて事業を開始しました。コロナ禍という事もあり、令和2年度は受け入れをお断りさせて頂きました。

今後についても、夜間や休日は、必要最低限での職員にて、対応している状況で、新たな利用者様を受入れる余裕は、実際の所ありません。

事業としての位置づけは、現在四箇厚生園の通所をご利用の利用者様や早良厚生園の日中活動事業をご利用の利用者様向けのご利用を想定し、保護者の方の急な都合などに対応する時間延長利用の策として位置付けて取り組んでいきたいと思えます。

【特定相談支援事業】

早良厚生園と相互に相談支援事業を行う事でスムーズに事業を行う事が出来たという利点と反対に、簡単に折り合いをつけてしまう点も見られたので、今後の課題としていきたいと思えます。

この事業を相互に行う事で、収益以上に業務過多のサービス管理責任者の業務の負担軽減に大いに役割を果たしています。早良区の慢性的な相談支援事業所不足の改善には、あまり寄与出来ていませんが、現状では、早良厚生園の入所利用者以外の受け入れは難しい状況に変わりはありません。

(2) 医務支援目標報告

業務内容は大きく以下の7つに分けられる：①利用者様の健康管理、②通院と診察の補助およびその記録、③薬の管理、④健康診断およびインフルエンザの予防接種、⑤利用者様と職員の感染予防に関する教育と指導、特に新型コロナウイルス感染防御の為の教育と技術の指導、⑥感染予防用品の在庫管理。①から④については、ほぼ目標を達成できた。しかし、⑤については今後も感染を徹底的に防ぐ為に、引き続き実施していく。⑥については、より効率的に在庫管理をできるシステムを構築する必要がある。

(3) 給食業務支援目標報告

①給食会議

委託業者、事務長、係長、栄養士が参加し、検食簿や栄養摂取状況を確認し、食事内容の検討を行いました。又、行事食等についての打ち合わせを行いました。

②給食の実施

リクエストメニューとして、以下の食事を実施しました。

| | | | |
|-----|---------------------------------|-----|----------------|
| 4月 | 具だくさんタンメン | 11月 | ニラたまチャーハン |
| 6月 | しゅうまい、豚バラ丼 | 12月 | おでん |
| 7月 | 冷やしごぼう天うどん、バナナケーキ 照り焼きチキンサンド | 1月 | 野菜の天ぷら、ハンバーグ |
| 8月 | ワンタンメン | 2月 | ホットドッグ |
| 9月 | ハンバーグカレー | 3月 | 豚肉とキャベツのカレー炒め丼 |
| 10月 | 水餃子、弁当 | | |

選択メニューとして、以下の食事を実施しました。

| | | | |
|----|--------------------|-----|------------------|
| 4月 | お米ライス／卵オムレツ・ホットドック | 10月 | 鶏の竜田揚げ／エビカツ |
| | | 11月 | 豚丼／かき揚げ丼 |
| 5月 | 肉シメジそば／きつねうどん | 1月 | 豚汁うどん／具沢山そば |
| 6月 | お好み焼き／揚げたこ焼き | | |
| 7月 | 冷しちゃんぽん／サラダうどん | 2月 | マカロニグラタン／ビーフシチュー |
| 8月 | 鶏のマリネ焼き／魚の天ぷら | 3月 | 青椒肉絲／エビマヨ |
| 9月 | カツとじ／和風ハンバーグ | | |

行事食として、以下の通り実施しました。

| | | | |
|----|------------------|-----|----------------|
| 4月 | 弁当 | 10月 | 十五夜、弁当、ハロウィン |
| 5月 | 弁当 | 11月 | 弁当 |
| 6月 | 弁当 | 12月 | 弁当、クリスマス、年越し蕎麦 |
| 7月 | 誕生祭（カレー）、弁当、土用の丑 | 1月 | 新年会 |
| 8月 | 食事会（ペペロンチーノ・唐揚げ） | 2月 | 節分、弁当 |
| 9月 | 弁当、敬老の日 | 3月 | 雛祭り、弁当 |

お替りメニューとして、以下の食事を実施しました。

| | | | |
|----|--------------|-----|------------|
| 4月 | 春雨の酢の物・筍の土佐煮 | 10月 | モザイクサラダ |
| 5月 | 杏仁豆腐 | 11月 | フルーツヨーグルト |
| 6月 | スパゲティサラダ | 12月 | 筑前煮 |
| 7月 | 水餃子 | 1月 | ジャーマンポテト |
| 8月 | 杏仁豆腐 | 2月 | 大学芋 |
| 9月 | きんぴらレンコン | 3月 | ほうれん草のごま和え |

郷土料理・世界の料理として、以下の食事を実施しました。

| | 郷土料理 | 世界の料理 | | 郷土料理 | 世界の料理 |
|----|----------|------------------|-----|---------|------------|
| 4月 | 筍の土佐煮 | 油淋鶏 | 10月 | のっぺい汁 | ボルシチ |
| 5月 | 高菜飯 | チキンピカタ | 11月 | はすのさんばい | 担々麺 |
| 6月 | ゴーヤチャンプル | プルコギ | 12月 | 煮ごめ | 豚肉のメキシコソース |
| 7月 | やちやら | アクアパッツァ | 1月 | めった汁 | ボンゴレ |
| 8月 | 衣笠丼 | カシューナッツ炒め 棒棒鶏 | 2月 | ひき菜炒り | ガパオライス |
| 9月 | 山賊焼き | 鱈のトマト煮 | 3月 | ばち汁 | ムサカ |

週間献立表は写真を用いて掲示し、イメージしやすいよう心掛けました。
また、郷土料理や世界の料理は、献立表とは別に由来やその他の料理等を
掲示し、食への関心を持ってもらえるよう心掛けました。
利用者の体調や身体的状況に合わせた食事を提供しました。

③衛生管理面

食堂は毎日清掃を行いました。

厨房内の害虫駆除を月に1度、9月と3月にグリストラップの清掃を行いました。

厨房内は殺菌消毒、換気を行い、常に清潔を心掛けました。

調理従事者は毎年1回の健康診断及び毎月1回の腸内細菌検査を行ってもらい、健康管理に留意しました。

厨房内に汚染を持ち込まないように、履物の交換や下処理、検品を確実に
行い、施設職員は必要時を除いて厨房内に立ち入らないようにしました。

機器類の故障はありませんでした。定期点検に伴い、部品交換を行いました。

1. 令和2年度 職員異動状況

令和3年3月31日現在 (単位:名)

| | 期首 | 採用・異動 | 退職・異動 | 期末 |
|-----------|----|-------|-------|----|
| 施設長 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 副施設長 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事務長 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 事務員 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 栄養士 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 看護師 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| サービス管理責任者 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 支援員 | 34 | 9 | 5 | 38 |
| 計 | 41 | 9 | 5 | 45 |

| | | | |
|----|-----|--------|------------------------|
| 異動 | 支援員 | 中島 哲平 | 令和 2年 4月 1日付け(早良厚生園より) |
| | 支援員 | 波多江 祐矢 | 令和2年 10月 1日付け(白糸農園へ) |

| | | | |
|----|-----|--------|-----------------|
| 退職 | 支援員 | 杉本 奈津妙 | 令和2年 6月26日付(退職) |
| | 支援員 | 中島 哲平 | 令和2年 9月30日付(退職) |
| | 支援員 | 宮地 智成 | 令和3年 3月31日付(退職) |
| | 支援員 | 菅野 美紀子 | 令和3年 3月31日付(退職) |

| | | | |
|----|-----|--------|----------------|
| 採用 | 支援員 | 池田 さくら | 令和2年 4月1日付(採用) |
| | 支援員 | 浦川 絵美 | 令和2年 4月1日付(採用) |
| | 支援員 | 杉本 奈津妙 | 令和2年 4月1日付(採用) |
| | 支援員 | 中尾 慎佑 | 令和2年 4月1日付(採用) |
| | 支援員 | 添島 美香 | 令和2年 8月1日付(採用) |
| | 支援員 | 小西 高明 | 令和2年 9月1日付(採用) |
| | 支援員 | 濱部 健一 | 令和2年 9月1日付(採用) |
| | 支援員 | 和田 厚 | 令和2年10月1日付(採用) |

2. 利用者年齢状況

令和3年3月31日現在 (単位:名)

| 入所 | 18歳～19 | 20～29 | 30～39 | 40～49 | 50～59 | 60歳以上 | 合計 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 男性 | 0 | 3 | 8 | 6 | 12 | 0 | 29 |
| 女性 | 0 | 0 | 5 | 4 | 11 | 1 | 21 |

| 通所 | 18歳～19 | 20～29 | 30～39 | 40～49 | 50～59 | 60歳以上 | 合計 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 男性 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| 女性 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 4 |

3. 施設利用期間

令和3年3月31日現在 (単位:名)

| 入所 | 1年未満 | 1~3年未満 | 3年以上 | | | | 合計 |
|----|------|--------|------|---|---|---|----|
| 男性 | 0 | 0 | 29 | | | | 29 |
| 女性 | 1 | 0 | 20 | | | | 21 |
| 合計 | 1 | 0 | 49 | 0 | 0 | 0 | 50 |

| 通所 | 1年未満 | 1~3年未満 | 3年以上 | | | | 合計 |
|----|------|--------|------|---|---|---|----|
| 男性 | 0 | 1 | 4 | | | | 5 |
| 女性 | 0 | 1 | 3 | | | | 4 |
| 合計 | 0 | 2 | 7 | 0 | 0 | 0 | 9 |

4. 障がい支援区分

令和2年3月31日現在 (単位:名)

| 入所 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 8 | 13 | 8 | 29 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 5 | 12 | 4 | 21 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 13 | 25 | 12 | 50 |

| 通所 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 5 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 6 | 9 |

| 平均支援区分 | 入所 | 通所 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|
| 男性 | 5.0 | 5.6 | 5.1 |
| 女性 | 5.0 | 5.3 | 5.0 |
| 合計 | 5.0 | 5.4 | 5.1 |

5. 施設入所支援利用者異動状況

令和3年3月31日現在 (単位:名)

| 入所 | 期首 | 新規入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|------|----|----|
| 男性 | 29 | 0 | 0 | 29 |
| 女性 | 21 | 0 | 0 | 21 |
| 合計 | 50 | 0 | 0 | 50 |

定員:50名

6. 生活介護利用者異動状況

令和3年3月31日現在 (単位:名)

| | 期首 | 新規利用開始 | 利用終了 | 期末 |
|----|----|--------|------|----|
| 男性 | 34 | 0 | 0 | 34 |
| 女性 | 25 | 0 | 0 | 25 |
| 合計 | 59 | 0 | 0 | 59 |

定員:58名

2020年度 研修関係実績表

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.1

| 日付 | 参加職員 | 研修名 | 研修会場 |
|----------|-------|---------------------------|-------------|
| 4/1~4/24 | 池田さくら | 四箇厚生園新人職員研修 | 四箇厚生園 |
| | 浦川絵美 | 四箇厚生園新人職員研修 | 四箇厚生園 |
| | 杉本奈津妙 | 四箇厚生園新人職員研修 | 四箇厚生園 |
| | 中尾慎佑 | 四箇厚生園新人職員研修 | 四箇厚生園 |
| 5/14 | 生野佑弥 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 生野佑弥 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| 5/15 | 結城晃司 | コミュニケーション研修【オンライン】インソース | オンライン インソース |
| 5/16 | 生野佑弥 | 社会人2年目研修【オンライン】インソース | オンライン インソース |
| | 渡邊心平 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 古川裕太郎 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 5/17 | 山下貴弘 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 結城晃司 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 田中竜吾 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| | 田中竜吾 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 山下貴弘 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 田中竜吾 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 5/17 | 渡邊心平 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| 5/18 | 板井優花 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| 5/18 | 結城晃司 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| | 板井優花 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 板井優花 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 田中竜吾 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| | 板井優花 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 5/19 | 酒井理恵 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| 5/20 | 波多江祐矢 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 酒井理恵 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| | 波多江祐矢 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 山下貴弘 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 山下貴弘 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| 5/21 | 結城賢吾 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 波多江祐矢 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 波多江祐矢 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| 5/22 | 結城賢吾 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| | 古川裕太郎 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 5/23 | 高李妃沙 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 宮地智成 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 結城晃司 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 生野佑弥 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 5/23 | 高李妃沙 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |

2020年度 研修関係実績表

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.2

| | | | |
|------|-------|-----------------------------|-------------|
| 5/24 | 平山夏希 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 平山夏希 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| 5/24 | 酒井理恵 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 高杳妃沙 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 5/24 | 生野佑弥 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| | 酒井理恵 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 5/26 | 永峰朋子 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| 5/26 | 永峰朋子 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| 5/27 | 田中竜吾 | 判断力強化研修【オンライン】インソース | オンライン インソース |
| 5/29 | 平山夏希 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 平山夏希 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| 5/30 | 永井佳子 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 永井佳子 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| 6/1 | 結城賢吾 | 中堅社員向けオーナーシップ研修【オンライン】インソース | オンライン インソース |
| | 高杳妃沙 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| | 永峰朋子 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 永峰朋子 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| 6/3 | 田中理恵 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 宮地智成 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| | 宮地智成 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| 6/4 | 山下貴弘 | 中研社員研修管理職を補佐し、部の成果を出す | オンライン インソース |
| | 結城賢吾 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| 6/5 | 永井佳子 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 6/6 | 古川裕太郎 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 結城晃司 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| | 古川裕太郎 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 永井佳子 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 6/8 | 田中理恵 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| 6/9 | 相田香 | 障害者支援の基礎「障害者虐待とは」 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 障害者支援の基礎「障害者虐待はなぜ起こるのか」 | オンライン サポカレ |
| | 田中理恵 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 宮地智成 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| 6/11 | 相田香 | 障害者支援の基礎「障害者虐待防止の為の仕組み作り」 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障害者支援の基礎「身体拘束について」 | オンライン サポカレ |
| | 田中理恵 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 7/6 | 古川裕太郎 | 仕事の進め方研修～PDCAを強化する～ | オンライン インソース |
| 8/17 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『まず立ち止まって考えること』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『衝動性への支援と暴力の発生』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『衝動性への支援と暴力の発生』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『日常的感染対策』 | オンライン サポカレ |
| 8/21 | 田中竜吾 | ふかぼりQ『知的障がい者とは』 | オンライン サポカレ |

2020年度 研修関係実績表

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.3

| | | | |
|------|-------|-----------------------------|-------------|
| 8/23 | 酒井理恵 | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |
| | 酒井理恵 | 障がい者支援の基礎『てんかんの分類』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『てんかん発作への対応』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『自傷行為への対処と支援』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『暴力行為への対処と支援』 | オンライン サポカレ |
| 8/26 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『ウイズコロナ』 | オンライン サポカレ |
| 8/27 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『まず立ち止まって考えること』 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 永峰朋子 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 9/1 | 田中竜吾 | 障がい者支援の基礎『衝動性への支援と暴力の発生』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『様々な依存への対処と支援』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『BCPからBCMへ』 | オンライン サポカレ |
| 9/6 | 酒井理恵 | 障がい者支援の基礎『まず立ち止まって考えること』 | オンライン サポカレ |
| | 酒井理恵 | 障がい者支援の基礎『日常的感染対策』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障がい者支援の基礎『まず立ち止まって考えること』 | オンライン サポカレ |
| | 和田成章 | 障がい者支援の基礎『人材育成とキャリアパス』 | オンライン サポカレ |
| | 和田成章 | 障がい者支援の基礎『キャリアパス構築の現状と課題』 | オンライン サポカレ |
| | 和田成章 | 障がい者支援の基礎『キャリアパスの効果と活用』 | オンライン サポカレ |
| | 古川裕太郎 | 障がい者支援の基礎『精神障害者の支援』 | オンライン サポカレ |
| | 古川裕太郎 | 障がい者支援の基礎『精神障害の基本的特性』 | オンライン サポカレ |
| | 古川裕太郎 | 障がい者支援の基礎『精神障害の概要』 | オンライン サポカレ |
| 9/8 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『風水害から利用者と職員の命を守る』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『怒りやストレスのコントロール術』 | オンライン サポカレ |
| 9/9 | 酒井理恵 | 障がい者支援の基礎『風水害から利用者と職員の命を守る』 | オンライン サポカレ |
| | 平山夏希 | 若手社員研修 ～主体性の発揮～ | オンライン インソース |
| | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『まず立ち止まって考えること』 | オンライン サポカレ |
| 9/12 | 宮地智成 | 障がい者支援の基礎『風水害から利用者と職員の命を守る』 | オンライン サポカレ |
| | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『風水害から利用者と職員の命を守る』 | オンライン サポカレ |
| 9/13 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『日常的感染対策』 | オンライン サポカレ |
| 9/14 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『西日本豪雨調査結果から学ぶ』 | オンライン サポカレ |
| 9/15 | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『まず立ち止まって考えること』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障がい者支援の基礎『日常的感染対策』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障がい者支援の基礎『ウイズコロナ』 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『西日本豪雨調査結果から学ぶ』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『風水害から利用者と職員の命を守る』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『自閉症スペクトラム障害の理解①』 | オンライン サポカレ |
| 9/16 | 平山夏希 | 障がい者支援の基礎『まず立ち止まって考えること』 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 障がい者支援の基礎『日常的感染対策』 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 障がい者支援の基礎『ウイズコロナ』 | オンライン サポカレ |
| | 永井佳子 | 業務改善研修 | オンライン インソース |
| 9/16 | 古川裕太郎 | 障がい者支援の基礎『風水害から利用者と職員の命を守る』 | オンライン サポカレ |

2020年度 研修関係実績表

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.4

| | | | |
|--------|-------|-----------------------------|------------|
| 9/16 | 古川裕太郎 | 障がい者支援の基礎『西日本豪雨調査結果から学ぶ』 | オンライン サポカレ |
| | 酒井理恵 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 9/17 | 生野佑弥 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 9/20 | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『風水害から利用者と職員の命を守る』 | オンライン サポカレ |
| | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『西日本豪雨調査結果から学ぶ』 | オンライン サポカレ |
| 9/24 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『代表的な刺咬害虫の生態と対策』 | オンライン サポカレ |
| 9/26 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『自閉症スペクトラム障害の理解②』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『自閉症スペクトラム障害の理解③』 | オンライン サポカレ |
| 9/27 | 高杢妃沙 | 障がい者支援の基礎『日常的感染対策』 | オンライン サポカレ |
| 9/28 | 永井佳子 | 障がい者支援の基礎『代表的な刺咬害虫の生態と対策』 | オンライン サポカレ |
| 10/3 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『代表的な刺咬害虫の生態と対策』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障害者支援の基礎『ダニ等の生態・対策と殺虫剤について』 | オンライン サポカレ |
| 10/5～6 | 中尾慎佑 | 新人研修 半年を振り返って | 四箇厚生園 |
| | 池田さくら | | 四箇厚生園 |
| | 浦川絵美 | | 四箇厚生園 |
| 10/5 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『リスクマネジメントとは』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 10/5 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『危険予知』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 10/5 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『リスクマネジメントの仕組』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 酒井理恵 | 障がい者支援の基礎『てんかん発作への対応』 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 10/6 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の重要性』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 10/6 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画作成とケース記録』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 10/6 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『アセスメントとは』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 10/6 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『障害者とのコミュニケーション』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| 10/6 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『障害者のニーズと支援』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 〃 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |

2020年度 研修関係実績表

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.5

| | | | |
|-------|-------|--------------------------------|-------------|
| 10/11 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |
| 10/12 | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『意思決定支援とは』 | オンライン サポカレ |
| 10/14 | 相田香 | 障がい者支援の基礎『てんかんの分類』 | オンライン サポカレ |
| 10/15 | 池田さくら | 障がい者支援の基礎『ストレングス技法とは』 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | # | オンライン サポカレ |
| 10/16 | 池田さくら | 障がい者支援の基礎『意思決定支援とは』 | オンライン サポカレ |
| 10/20 | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『面談の基本と心得』 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『利用者意向の把握』 | オンライン サポカレ |
| | 浦川絵美 | 新人フォロー研修 | オンライン インソース |
| 10/24 | 渡邊心平 | 受講者Q&A通信『てんかん患者への対応』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 受講者Q&A通信『自閉症』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『てんかんの分類』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |
| 10/26 | 池田さくら | 新人フォロー研修 | オンライン インソース |
| 11/1 | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『リフレーミング技法とは』 | オンライン サポカレ |
| 11/3 | 酒井理恵 | 障害者支援の基礎『からだところの老い』 | オンライン サポカレ |
| 11/4 | 池田さくら | 障がい者支援の基礎『てんかん発作への対応』 | オンライン サポカレ |
| | 酒井理恵 | 受講者Q&A通信『てんかん患者への対応』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 障がい者支援の基礎『てんかんの分類』 | オンライン サポカレ |
| | 永峰朋子 | 若手社員研修 ～主体性の発揮～ | オンライン インソース |
| 11/7 | 浦川絵美 | 障害者支援の基礎『事例で考えるストレングスとリフレーミング』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |
| 11/10 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『行動療法の概論』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『行動療法のアプローチ』 | オンライン サポカレ |
| 11/17 | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |
| 11/18 | 相田香 | タイムマネジメント研修 ～時間管理を学ぶ～ | オンライン インソース |
| 11/20 | 高李妃沙 | 障がい者支援の基礎『ウイズコロナ』 | オンライン サポカレ |
| 11/25 | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『インフルエンザの対応』 | オンライン サポカレ |
| 11/26 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『てんかんの分類』 | オンライン サポカレ |
| | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『てんかん発作への対応』 | オンライン サポカレ |
| 12/2 | 高李妃沙 | 障がい者支援の基礎『てんかんとは』 | オンライン サポカレ |
| | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『自立支援介護と身体的自立』 | オンライン サポカレ |
| 12/3 | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『行動療法の概論』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 受講者Q&A通信『てんかん患者への対応』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障がい者支援の基礎『障害者ってどんな人？』 | オンライン サポカレ |
| | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『てんかんの分類』 | オンライン サポカレ |
| | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『てんかん発作への対応』 | オンライン サポカレ |
| 12/4 | 藤井剛 | 受講者Q&A通信『てんかん患者への対応』 | オンライン サポカレ |
| | 高岡雅江 | 障がい者支援の基礎『自傷行為への対処と支援』 | オンライン サポカレ |
| | 高岡雅江 | 障がい者支援の基礎『暴力行為への対処と支援』 | オンライン サポカレ |
| | 高岡雅江 | 障がい者支援の基礎『様々な依存への対処と支援』 | オンライン サポカレ |

2020年度 研修関係実績表

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.6

| | | | |
|-------|-------|-------------------------------|-------------|
| 12/5 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| | 田中理恵 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| 12/7 | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『行動療法の概論』 | オンライン サポカレ |
| 12/8 | 高岡雅江 | 障がい者支援の基礎『業務マニュアルとは何か』 | オンライン サポカレ |
| | 高岡雅江 | 障がい者支援の基礎『業務標準化とは何か』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障がい者支援の基礎『スタンダードプリコーション』 | オンライン サポカレ |
| | 結城賢吾 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| 12/9 | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『スタンダードプリコーション』 | オンライン サポカレ |
| | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『流行性胃腸炎二次感染の防止』 | オンライン サポカレ |
| | 中尾慎佑 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| | 高岡雅江 | 障がい者支援の基礎『業務マニュアル作成のポイント』 | オンライン サポカレ |
| 12/10 | 相田香 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| | 高岡雅江 | 障がい者支援の基礎『業務マニュアルの活用促進』 | オンライン サポカレ |
| | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『インフルエンザの対応』 | オンライン サポカレ |
| 12/11 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『事例から行動療法の適用を考える』 | オンライン サポカレ |
| 12/24 | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の実施とサービス管理』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 障がい者支援の基礎『アセスメントから計画立案まで』 | オンライン サポカレ |
| 12/27 | 古川裕太郎 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| | 古川裕太郎 | 障がい者支援の基礎『アセスメントから計画立案まで』 | オンライン サポカレ |
| 12/28 | 浦川絵美 | 障がい者支援の基礎『スタンダードプリコーション』 | オンライン サポカレ |
| 12/29 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『アセスメントから計画立案まで』 | オンライン サポカレ |
| | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の実施とサービス管理』 | オンライン サポカレ |
| 1/7 | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『アセスメントから計画立案まで』 | オンライン サポカレ |
| | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の実施とサービス管理』 | オンライン サポカレ |
| | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『サビ管 個別支援計画のツボを語る』 | オンライン サポカレ |
| | 藤井剛 | 障がい者支援の基礎『個別支援計画の目的を確認する』 | オンライン サポカレ |
| 1/16 | 生野佑弥 | 『目に見えないものを視ようとする心が自分を善くする』 | オンライン サポカレ |
| 1/19 | 渡邊心平 | 『目に見えないものを視ようとする心が自分を善くする』 | オンライン サポカレ |
| | 渡邊心平 | 『自分の中にある経験知で考える時の落とし穴』 | オンライン サポカレ |
| 1/26 | 浦川絵美 | スペシャル講座『正しい事故報告書の書き方講座』 | オンライン サポカレ |
| | 池田さくら | 新人フォロー研修 | オンライン インソース |
| 1/30 | 渡邊心平 | 『コトバの"外化"が成長マインドとなる』 | オンライン サポカレ |
| 2/2 | 田中竜吾 | 障がい者支援の基礎『ヒヤリハットの記録の残し方と活用法』 | オンライン サポカレ |
| 2/3 | 相田香 | 障がい者支援の基礎『スタンダードプリコーション』 | オンライン サポカレ |
| | 相田香 | 障がい者支援の基礎『流行性胃腸炎二次感染の防止』 | オンライン サポカレ |
| 2/7 | 生野佑弥 | 障がい者支援の基礎『強度行動障害①』 | オンライン サポカレ |
| 2/10 | 浦川絵美 | ケース記録の書き方 | オンライン サポカレ |
| 2/20 | 相田香 | 障がい者支援の基礎『ヒヤリハットの記録の残し方と活用法』 | オンライン サポカレ |
| | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『金銭管理の重要性と障がい特性の違い』 | オンライン サポカレ |
| 2/21 | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『精神障がい者の金銭管理とそのポイント』 | オンライン サポカレ |
| 3/4 | 中原優花 | 障がい者支援の基礎『代表的な刺咬害虫の生態と対策』 | オンライン サポカレ |
| | | 障害者支援の基礎『ダニ等の生態・対策と殺虫剤について』 | オンライン サポカレ |

令和2年度 白糸農園事業報告（案）

社会福祉法人 悲田院
障がい者支援施設 白糸農園

1. 基本方針

令和2年度は、令和2年1月より世界中に猛威を振るった新型コロナウイルスにより活動や通所利用の自粛といったこれまでに経験をしたことのない事態になりました。中でも利用者の外出や帰省が出来なくなり、利用者の精神状態の不穏に職員も苦勞をしてきたものと考えられます。又利用者の家族においても通院が出来ないことで不安になられる方もおられました。日中活動では普段通りの状況で行い特に園内消毒に重点を置きました。就労活動でも通常と変わりなく行うことが出来外出を除き留意する点はありませんでした。園内生活では室内でのマスクの着用を義務付けていましたが年度の前半マスクの調達が滞り職員による手作りで対応しました。利用者の状況は通所利用者において在宅支援（電話連絡による状況の把握）を行い利用したものとみなされ収支に大きな影響はありませんでした。共同生活援助（GH）で就労先の関係に新型コロナ感染の疑いがありましたが大事には至りませんでした。

就労活動では生活介護のネギ油が本格的な販売に取り組もうとしたばかりでありましたが取引先の空港や博多駅が閑散となり期待していた販売には至りませんでした。伊都菜彩・ふくふくの里等に販路を広げ販売に努めました。一方B型（大地の恵み）では玉葱の苗が大きかったのと例年になく暖冬で生育が早すぎてすべての玉葱が薹立ちをしてしまい製品にはなりませんでしたがフードサプライの配慮で一定の量は販売することが出来ました。しかし収支にはつなげることが出来ませんでした。また水稻におきまして、昨年はいもち病の被害に会い収量が激減しました。本年に至ってはウンカの影響で同じく終了が激減しました。これまで社会福祉法人として作付けをしてまいりましたが、令和3年度からは認定農業者の資格を得たことにより水稻共済の加入が可能となりましたのでなにがしかの補填につながると考えます。野菜においては出荷先であるヤマスエが新型コロナの影響で取引先との販売が滞り予定していた販売が出来ませんでした。

最後に「ねぎぼうず」について地域並びに法人役員の皆様には大変ご尽力を頂きまして令和3年3月31日をもって事業を終了することが出来ました。事業を廃止するにあたっては熟慮に熟慮を重ねた結果の事であると認識しています。今後「ねぎぼうず」跡地につきましては収益事業として第三者に委託することとなりましたがこれまで以上営業に力を入れて頂けるものと考えております。

2. 重点目標報告

生活介護では、加工品「食べるネギ油」の安定生産、販路拡大に努め、売り上げ向上に努めました。地域の販売所へ納品、販売を行い売り上げが向上しています。また、HACCPの制度化に対応するため、加工場の環境整備、衛生管理に努めました。

葱作業については、梅雨から夏にかけての豪雨など天候不順の影響から生育不良や病害が発生し出荷数が減少しました。早急に対策を行い、秋ごろには生育が改善しています。

生活介護の中でも個人個人の個性や特性に配慮し、一人一人に対する個別の支援や活動を必要に応じて提供しました。

自立訓練に関しては3名の在籍中の方への生活訓練や作業提供を行いました。新型コロナウイルスの影響で外部への実習や社会学習が実施できませんでした。

研修に関して今年度は新型コロナウイルスの影響により、積極的に参加を出来ませんでした。次年度以降は、オンラインでの研修等を利用し積極的に自己研鑽に努めて参ります。

以下、取り組みについてご報告いたします。

(1) 事業報告

障害者総合支援法に則り、利用者のニーズを把握しながら個別支援計画に基づき支援を行いました。

【生活介護】

「生活介護班」の中でひとりひとりのニーズや要望を把握しながら、「加工品作業班」「農作業班」といったグループ化を必要に応じて実施しました。また、作業参加が難しい方は「個別活動班」にて支援や活動の提供を実施しながら、軽作業などを提供し全体的な工賃向上に努めました。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、活動に制限などがありましたが、利用者様が楽しめる様に施設内で、誕生会やスイーツ作りを実施しております。

《作業班》

加工品部門では、毎月利用者の検便を実施し、衛生管理に努めています。新型コロナウイルスの影響で外部での販売等は控えていただいておりますが、製造、商品のラベルシール貼りなどに従事して頂いております。

葱畑の管理手伝いなどが得意な方については、特殊作業班として肥料散布等の業務を行っていただきました。

《生活介護班》

多くの利用者さんが関わられる葱作業を継続的に提供しました。また、レクリエーション（余暇活動）をバランスよく提供していきました。

リサイクル作業やソーラーパネル場の除草作業は、取引先の都合により年度の途中で中止しております。

《個別活動班》

障がい特性上、個別での対応が望ましい方や高齢の方を中心に個別課題や体力維持の為の活動を提供しています。また、全体での活動にも参加をして頂ける様に努めました。

【自立訓練（生活訓練）】

今年度は、コロナウイルスの影響があり外部の見学等、様々な活動を提供する事が出来ませんでした。その為、令和3年度の事業計画でも説明した様に一昨年度からの利用の3名の方は、1年間のサービスの延長をして頂いています。

【施設入所支援】

夜間は夜勤者3名体制を継続して行っています。派遣夜勤者の配置を上半期に契約終了し人件費の節約に努めました。入所利用者の重度高齢化に伴い、安全面においては体調や精神面の変化等の早期発見、早期対応が出来るように男女職員の協力の下、巡回をこまめに実施しました。

休日の日中に関しては男女3名体制で支援を行いました。

空床利用型短期入所につきましては、空いた居室を利用し入所を見越して現在利用していただいております。

(2) 利用者、保護者、サービス提供者との連携

月1回の面会日による面談が新型コロナウイルスの影響で実施が出来なかった月が多く、電話や書面にて保護者と連絡を取り合い、情報の共有、保護者の意向の聞き取り等連携を深めました。

また、個別支援計画の説明と同意を該当月に実施しております。

(3) 地域との連携

稲原地区の常会に参加し、行事や清掃活動の予定も直接聞くことが出来、地域活動に参加させて頂きました。

長糸公民館を利用し、「女性の会」「健康を守る会」の方たちと一緒に調理する調理実習、「女性の会」の役員の方たちと一緒に往う、憩いの家清掃活動、長年交流を実施している長糸小学校との交流会はコロナウイルスの影響により実施する事が出来ませんでした。

(4) 職員の資質向上

コロナウイルスの影響により研修等には殆ど参加が出来ませんでした。次年度以降は、オンラインでの研修を取り入れ自己啓発、自己研鑽に努めて参りま

す。権利擁護や虐待防止の研修についても適宜実施を行い、職員の資質向上を目指しました。

3. 支援基本目標

①健康管理

入所の方においては毎朝、入浴前の検温や問診視診を実施、居宅の方においては状況に応じて検温、視診等のバイタルチェックを行い、日頃から利用者一人ひとりの状態を把握する事により、心身の状況を観察し、異常等の早期発見、早期受診に努めました。

②相談、苦情解決

利用者の苦情、相談については相談箱を設け、職員への相談しやすい姿勢に努め、相談支援体制の充実を図りました。また、利用者が苦情を申し立てる仕方について学ぶ機会を設けました。

苦情や相談を受けた際には速やかに情報を職員間で共有し、問題点についての改善を実施し、再発防止に努めました。

③事故防止

日頃よりヒヤリハットを意識し、支援会議で話し合いを行うことにより事故を未然に防ぐ努力を行って参りました。ヒヤリハット報告書、事故報告書については支援会議録へファイルし、職員全員で再発防止のための共通認識を深めるよう努めました。

④個別支援計画

生活介護事業においては、6ヶ月毎に個別支援計画のモニタリングを実施し、個別支援計画の作成については保護者への説明、同意を得ることが出来ていますが、保護者への連絡がつかないなど各家庭の諸事情により、本人同意のみの方も数名いらっしゃいます。

4. 生活支援報告

利用者一人ひとりが充実した生活が送れる様に活動の時間以外でもニーズに応え支援して参りました。

① 入所利用者の方においては毎日1時間の設定で基本的日常習慣が確立出来る様に生活支援をしました。また、事業活動の時間にも利用者の身の周りの整容や居室の掃除の機会を多く設けました。

さらに、ルームでの外出の日は午前中を居室の清掃や身だしなみの整容の日に設定することで、きめ細かい生活支援を実施しています。

② 利用者会議を実施し、利用者の方からの意見を頂き、問題解決を図りました。

5. 生活介護作業計画報告

①葱作業

梅雨から夏にかけての豪雨など天候不順の影響から生育不良や病害が発生し出荷数が減少しました。早急に対策を行い、秋ごろには生育が改善し商品計画様と福岡フードサプライ様への出荷を継続して行っています。

②加工品作業

加工品「食べるネギ油」の安定生産、販路拡大に努め、売り上げ向上に努めました。地域の販売所への納品、販売を行い売り上げが向上しています。また、HACCPの制度化に対応するため、加工場の環境整備、衛生管理に努めました。

③ソーラーパネル場管理作業

取引先からの申し出により年度の途中で委託作業を取りやめています。

④園内清掃

園内清掃では、娯楽室や園舎内外の清掃を行いました。掃除を好まれる利用者や、自立訓練の生活の訓練として清掃を提供していくことで利用者の生活の質の向上にもつながっています。

6. 自立訓練作業報告

①リサイクル回収作業

取引先の都合により、今年度の途中で委託作業を中止しております。

②セルフ共同受注納品作業

まごころ製品の受託配送を実施しました。外部の方への挨拶の練習、作業としての運搬の練習など社会訓練の一環として取り組むことが出来ました。

③葱作業

生活介護の作業にも一緒に取り組み、作業に対する姿勢を学んだり、作業手順をひとりひとりに応じて学びました。

④その他の作業

コロナウイルスの影響により外部の事業所と連携しての作業体験を実施する事が出来ませんでした。その影響もあり自立訓練を利用の3名の方に関しては、1年のサービスの延長を行っております。

7. 就労支援事業の評価と記録報告

工賃については悲田院工賃規程、白糸農園工賃支給要領に基づき、毎月の作業参加状況及び工賃検討委員会による評価に基づき支給を行っております。

8. 居宅支援事業報告

地域の方々と交流を深め、地域の一員として生活を出来る様に支援をおこないました。世話人や支援員が幅広く勤務出来るような体制作りは一部は実施を行いました。全ホームでは実施を出来ておりません。

9. 保健衛生支援計画報告

コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策として、食事の際の席にパーティションを設置し、全員が同じ方向を向き食べる様に変更をしております。また、施設内全体を消毒する機械を購入し消毒を実施しております。昨年度に引き続き食堂にはオゾン発生器、談話室には塩素発生器を設置し予防の徹底を行いました。外出時には職員・利用者全員にマスクの着用を実施し、コロナウイルスの発生状況により、その都度、外出の中止や行先の変更を行う事により、コロナウイルス感染症の発生はありませんでした。

(1) 健康診断

定期健康診断を年2回実施致しました。糸島市総合検診に関しては、コロナウイルスの流行により中止をしております。

(2) 歯科検診

歯科検診を実施し虫歯予防の為、歯磨き介助、見守り、声掛けを行いました。また、平成27年度から訪問歯科を取り入れた事で、通院が難しかった重度の方数名も施設内で実施出来ております。

(3) 嘱託医の訪問診察を年4回実施し、利用者の状況、状態把握、早期発見に努め、健康管理（手洗い、うがい、手の消毒）も実施しました。

(4) 疾病別また、肥満対象者へ特別食を提供しております。

(5) 毎月の体重、血圧測定を実施し健康面の把握を行いました。

(6) 毎日の検温（1日2回、冬場は1日3回）視診にて、その日の体調等を把握し、インフルエンザ等の早期発見に努めました。

(7) 今年度はコロナウイルス感染症予防の為、1年間を通してマスクの着用、手洗い、うがい、消毒を実施しました。

10. 給食業務重点目標報告

(1) 給食会議

月1回実施し委託業者、利用者、職員で意見等を出し合い、より良い食事の提供が出来る様にメニューの充実を図りました。

(2) 楽しい食事

家庭的で和む様な雰囲気作りに努めました。行事食や選択メニューを実施し、献立表も写真付きにし、利用者の方がイメージをし易い様にしております。外

食を絡めた外出の機会はコロナウイルス感染症の為、実施が出来ておりません。

(3) 衛生管理

委託業者と協議を行いながら、害虫等の駆除や清潔を保ち、外部からの感染を予防しました。

(4) 食堂及び厨房設備の充実

オール電化となっており、必要に応じて食堂内の装飾や備品・厨房器具も協議して改善しました。

1. 職員異動状況

白糸農園 令和2年3月31日現在 単位:名

| 職 種 | 期 首 | 採 用・異 動 | 退 職・異 動 | 期 末 |
|-----|-----|---------|---------|-----|
| 施設長 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 事務員 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 支援員 | 26 | 3 | 4 | 25 |
| 看護師 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 栄養士 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 世話人 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 計 | 35 | 3 | 4 | 34 |

大地の恵み 令和2年3月31日現在 単位:名

| 職 種 | 期 首 | 採 用・異 動 | 退 職・異 動 | 期 末 |
|-----------|-----|---------|---------|-----|
| 管理者・サビ管 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 目標工賃達成指導員 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 職業指導員 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 生活支援員 | 5 | 0 | 3 | 1 |
| 計 | 8 | 1 | 3 | 5 |

【退職及び異動】 白糸農園

支援員 篠原 隆 令和2年5月31日付(退職) 支援員 川原 純 令和3年3月31日付(定年退職)

支援員 野田部 まり子 令和3年3月31日付(準職定年退職) 支援員 井上 百合子 令和3年3月31日付(準職定年退職)

【退職及び異動】 大地の恵み

支援員 吉富 澄子 令和3年3月31日付(退職) 支援員 石井 珠子 令和3年3月31日付(退職)

支援員 藤田 由美子 令和3年3月31日付(退職)

【採用及び異動】 白糸農園

支援員 下園 幸治 令和2年7月1日付 支援員 波多江 祐矢 令和2年10月2日付(四箇厚生園より異動)

支援員 野上 紀世子 令和2年10月9日付

2. 利用者状況

白糸農園 定員:入所50名(男性34名・女性16名)

日明ホーム5名 : 駅南ホーム5名 : 老松ホーム5名 : さくら5名

利用者異動状況:施設入所支援

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 期首 | 入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|----|----|----|
| 男性 | 34 | 0 | 1 | 33 |
| 女性 | 16 | 0 | 0 | 16 |
| 合計 | 50 | 0 | 0 | 49 |

利用者異動状況:共同生活援助

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 期首 | 入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|----|----|----|
| 男性 | 9 | 0 | 0 | 9 |
| 女性 | 10 | 0 | 1 | 9 |
| 合計 | 19 | 0 | 0 | 18 |

利用者異動状況:自立訓練

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 期首 | 入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|----|----|----|
| 男性 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 3 | 0 | 0 | 3 |

障害程度区分表:施設入所支援

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 非該当 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 合計 |
|----|-----|---|---|---|----|----|---|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 3 | 19 | 9 | 2 | 33 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 4 | 8 | 2 | 2 | 16 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 7 | 27 | 11 | 4 | 49 |

障害程度区分表:共同生活援助

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 非該当 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 合計 |
|----|-----|---|---|---|---|---|---|----|
| 男性 | 6 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| 女性 | 5 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 9 |
| 合計 | 11 | 0 | 3 | 1 | 2 | 1 | 0 | 18 |

障害程度区分表:自立訓練

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 非該当 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 合計 |
|----|-----|---|---|---|---|---|---|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 |

年齢別統計表:施設入所支援

令和2年3月31日現在 単位:歳:名

| | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 | 70~80 | 合計 | 最年少年齢 | 最年長年齢 | 平均年齢 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|-------|------|
| 男性 | 1 | 6 | 2 | 7 | 8 | 6 | 3 | 33 | 19 | 73 | 49 |
| 女性 | 0 | 1 | 3 | 0 | 5 | 6 | 1 | 16 | 24 | 72 | 51.9 |
| 合計 | 1 | 7 | 5 | 7 | 13 | 12 | 4 | 49 | | | 49.9 |

年齢別統計表:共同生活援助

令和2年3月31日現在 単位:歳:名

| | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 | 70~80 | 合計 | 最年少年齢 | 最年長年齢 | 平均年齢 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|-------|------|
| 男性 | 0 | 0 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 9 | 35 | 69 | 46.1 |
| 女性 | 0 | 1 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 9 | 22 | 57 | 40.2 |
| 合計 | 0 | 1 | 5 | 5 | 5 | 1 | 1 | 18 | | | 43.2 |

在所期間:施設入所支援

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 1年未満 | 1~5 | 6~10 | 11~15 | 16~20 | 21~25 | 26~30 | 31~ | 合計 | 平均在所期間 |
|----|------|-----|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|---------|
| 男性 | 0 | 4 | 4 | 3 | 3 | 6 | 4 | 9 | 33 | 22年8ヶ月 |
| 女性 | 0 | 3 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 16 | 16年10ヶ月 |
| 合計 | 0 | 7 | 8 | 6 | 4 | 7 | 5 | 12 | 49 | 20年10ヶ月 |

在所期間:共同生活援助

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 1年未満 | 1~5 | 6~10 | 11~15 | 16~20 | 21~25 | 26~30 | 31~ | 合計 | 平均在所期間 |
|----|------|-----|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|--------|
| 男性 | 0 | 4 | 0 | 5 | | | | | 9 | 8年11ヶ月 |
| 女性 | 0 | 5 | 2 | 2 | | | | | 9 | 6年2ヶ月 |
| 合計 | 0 | 9 | 2 | 7 | | | | | 18 | 7年7ヶ月 |

大地の恵み 定員:20名

利用者異動状況:就労継続支援B型

令和2年3月31日現在 単位:名

| | 期首 | 入所 | 退所 | 期末 |
|----|----|----|----|----|
| 男性 | 16 | 1 | 1 | 16 |
| 女性 | 5 | 0 | 0 | 5 |
| 合計 | 21 | 1 | 1 | 21 |

年齢別統計表:就労継続支援B型

令和2年3月31日現在 単位:歳:名

| | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 | 70~80 | 合計 | 最年少年齢 | 最年長年齢 | 平均年齢 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|-------|------|
| 男性 | 0 | 0 | 3 | 4 | 5 | 2 | 2 | 16 | 30 | 73 | 44.7 |
| 女性 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 5 | 31 | 58 | 45 |
| 合計 | 0 | 0 | 5 | 4 | 8 | 2 | 2 | 21 | | | 44.8 |

令和2年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 白糸農園

NO. 1

| 月 日 | | 参加職員 | 研 修 名 | 研修会場 |
|-----|-------------|--------|-----------------------------|--------------|
| 11月 | 18日 | 藤田 勝利 | 日本財団就労支援フォーラム | ホテルニューオータニ博多 |
| | | 宮崎 浩彰 | 〃 | 〃 |
| | 19日 | 大塚 孔美子 | スマイルネットワーク研修 | オンライン |
| | | 納富 文子 | 〃 | 〃 |
| | 19日 20日 23日 | 大塚 孔美子 | 相談支援従事者初任者研修 | 〃 |
| 12月 | 3日 | 藤田 勝利 | 九州社会就労センター協議会 令和2年度課題別専門勉強会 | オンライン |
| | 21日 22日 | 大塚 孔美子 | サービス管理責任者研修 | 〃 |
| 1月 | 15日 | 大塚 孔美子 | 〃 | クローバープラザ |
| | 29日 | 藤田 勝利 | セルフセンター福岡 施設長・職員研修会 | 〃 |
| | | 宮崎 浩彰 | セルフセンター福岡 施設長・職員研修会 | 〃 |
| | | 樺島 琢也 | セルフセンター福岡 施設長・職員研修会 | 〃 |
| 2月 | 25日 | 藤田 勝利 | 全国社会就労センター長研修会 | 〃 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

令和2年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 大地の恵み

| 月 日 | | 参加職員 | 研 修 名 | 研修会場 |
|-----|-----|-------|-------------------------|--------------|
| 7月 | 10日 | 山本 康平 | 福岡県令和2年度集団指導 | 吉塚合同庁舎 |
| 9月 | 25日 | 山本 康平 | 「糸島市直売所ネットワーク会議」第1回研修会 | 糸島市役所 |
| 10月 | 15日 | 山本 康平 | 福岡県共同受注推進協議会 第1回農福連携委員会 | 粕屋総合庁舎 |
| | 28日 | 山本 康平 | 安全運転管理者講習 | 伊都文化会館 |
| 11月 | 13日 | 山本 康平 | セルフセンター福岡 未来委員会 | オンライン |
| | 18日 | 山本 康平 | 日本財団就労支援フォーラム | ホテルニューオータニ博多 |
| 12月 | 10日 | 山本 康平 | 福岡県共同受注推進協議会 第2回農福連携委員会 | 粕屋総合庁舎 |
| 1月 | 15日 | 山本 康平 | セルフセンター福岡 未来委員会 | オンライン |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

令和2年度 大地の恵み事業報告（案）

1. 基本方針

白糸農園事業報告（案）に準ずる。

2. 事業目標報告

- (1) 今年度は定員 20 名に対し 21 名の登録で事業を開始する事が出来ましたが、1 名の方が 11 月より一般就労へ移行されています。また、1 名は精神的に不安定になられ入院をされ、1 名は引き続き安定して出勤出来ていない状況であります。今後も利用者の増員及び出勤し易い環境作りに努めて参ります。
- (2) 生産活動（水稻、玉葱、野菜、販売所）と施設外支援を中心に障がいのある方の働く場としてサービスの提供を行いました。今年度は、平均工賃 20, 275 円の支払いを行いました。

3. 支援基本目標報告

(1) 個別支援計画

定期的にモニタリングの実施を行い、利用者一人一人に合った支援方法を検討し、個別支援計画の作成を実施しています。

(2) 相談、苦情解決

相談箱の設置及び職員への相談しやすい環境作りに努め、相談体制の充実を図りました。また、保護者と密な連絡を行う事により苦情は挙がっておりません。

(3) 事故防止

安全対策の強化を行って参りましたが、車両のドアで指を挟む事故があり、打撲で大怪我には至りませんでした。1 件事故が発生しております。今後も引き続き、事故がない様に安全対策に努めて参ります。

4. 就労事業活動計画報告

(1) 水稻事業

新たに圃場が増え栽培面積は増えてきましたが、害虫の発生等により生産量を増やす事が出来ませんでした。管理作業をしっかりと行い安

定的に生産出来る様に努めて参ります。新たな販路としては、年度末より宰府園様との取引を開始しています。

(2) 玉葱作業

暖冬の為、トウ立ちが多く発生し、出荷を出来ずに廃棄をする事が多く、より多くの収益を上げる事が出来ませんでした。株式会社やますえ様との取引は安定して行う事が出来ております。

(3) 野菜作業

作付面積の拡大を行い、様々な品種の野菜栽培に取り組む事で生産量も増え年間を通して生産・出荷を出来ています。しかし、鳥獣被害やコロナウイルスの関係で出荷を出来ずに廃棄をした野菜がありました。ホテルオークラ福岡様との取引は継続して行っておりますが、コロナウイルスの影響により取引量を増やす事は出来ませんでした。株式会社やますえ様との取引は安定的に行う事でより多くの収益を上げる事が出来ております。

(4) 販売所

大地の恵みより出荷する野菜は増やしましたが、一般の生産者の出荷量が年々、減少しており売上は徐々に落ちて来ています。近隣の伊都菜彩の影響もあり新たな生産者の獲得も出来ておりません。

(5) 施設外支援

福岡フードサプライ様に利用者4名をローテーションにて年間180日を上限に施設外支援にて受け入れて頂きました。日に1回事業所を訪問し担当者様と密な連携を図っています。

5. 就労支援事業の評価と記録

工賃については悲田院工賃規程、大地の恵み工賃支給要領に基づき、毎月の作業参加状況及び工賃検討委員会による評価により支給しております。

6. 保健衛生支援計画報告

白糸農園保健衛生支援計画報告に準ずる。

7. 給食業務重点目標報告

白糸農園給食業務重点目標報告に準ずる。

令和2年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 大地の恵み

| 月 日 | | 参加職員 | 研 修 名 | 研修会場 |
|-----|-----|-------|-------------------------|--------------|
| 7月 | 10日 | 山本 康平 | 福岡県令和2年度集団指導 | 吉塚合同庁舎 |
| 9月 | 25日 | 山本 康平 | 「糸島市直売所ネットワーク会議」第1回研修会 | 糸島市役所 |
| 10月 | 15日 | 山本 康平 | 福岡県共同受注推進協議会 第1回農福連携委員会 | 粕屋総合庁舎 |
| | 28日 | 山本 康平 | 安全運転管理者講習 | 伊都文化会館 |
| 11月 | 13日 | 山本 康平 | セルフセンター福岡 未来委員会 | オンライン |
| | 18日 | 山本 康平 | 日本財団就労支援フォーラム | ホテルニューオータニ博多 |
| 12月 | 10日 | 山本 康平 | 福岡県共同受注推進協議会 第2回農福連携委員会 | 粕屋総合庁舎 |
| 1月 | 15日 | 山本 康平 | セルフセンター福岡 未来委員会 | オンライン |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

令和2年度 SunSun 事業報告(案)

1. 基本方針に対する報告

就労継続支援 A 型と B 型のサービスを実施し、以下の事を基本方針として定め、それぞれの場所で活動しました。

○糸島市クリーンセンターリサイクルプラザ棟（糸島市指定管理業務）
障がいのある方が安心して、落ち着いて働く事ができる職場の提供を念頭において運営した結果、離職者は出ませんでした。

○むっちゃん万十 前原店

新型コロナウイルス感染によるイートインスペースの閉鎖や時短営業などを余儀なくされましたが、就労している障がい者の方の生活基盤を支える事ができました。

○糸島 Sun ショップ

新型コロナウイルス感染拡大による度重なる緊急事態宣言の発出等により、売り上げが激減し、そのような状況に対して上手に対応できませんでした。

○むっちゃん万十 前原駅販売所

SunSun を利用する障がいのある方たちの賃金と工賃の確保を念頭に運営しました。新型コロナウイルス感染拡大による営業時間の短縮や筑前前原駅の利用者が減った為、予定していた収益は出ませんでした。契約職員の協力により、安定した運営を続ける事ができました。

○MH ビル 2F

就労継続支援 B 型の活動の場として活用し、精神障がいや発達障がいのある方が安心して働く事ができる環境設定を行いながら運営する事ができました。

○伊都の杜第一公園（糸島市シルバー人材センター委託業務）

就労継続支援 B 型の施設外就労の場として、利用者の方の健康増進、体力維持を念頭におき、1年間清掃活動を行う事ができました。

2. 事業目標報告

○就労継続支援 A 型

- 1) 一般企業に就職したり、病死にて一時的に減員する事もありましたが、障がいのある方の雇用の場を守る事ができました。
- 2) 新型コロナウイルス感染症拡大に対応できず、売上げを大きく落としました。
- 3) 就労継続支援 B 型の利用者でもできるような作業は、就労継続支援 B 型に少しずつ引き継ぐ事ができています。

○就労継続支援 B 型

- 1) 利用者の増員ができました。
- 2) 利用者個々のニーズに対応した送迎や利用時間の調整ができました。
- 3) 就労継続支援 A 型と連携することにより、工賃の維持ができました。
- 4) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、近隣の社会資源を活用したレクリエーション活動ができませんでした。

3. 支援基本目標報告

○就労継続支援 A 型

- 1) 新型コロナウイルス感染症拡大による時間差出勤や在宅勤務を行う事もありましたが、働いている障がい者の方に対して感染症拡大前の賃金を払い続ける事により、安心して生活ができる環境づくりができました。
- 2) 精神障がいの方には心の安定にも配慮しながら支援を行い、グループホームで生活していた利用者を、一人暮らしに移行する事ができました。
- 3) 難病の方には本人の体力に合った配慮を行いました。状態が急変し入院に至る事もありました。
- 4) 一般就労を希望している利用者の方 1 名を就職させる事ができました。

○就労継続支援 B 型

- 1) 障がい特性や能力に合わせた作業を提供した事により、利用時間が伸びたり、利用日数が増えた利用者もいました。
- 2) 利用者個々のニーズに対してできるだけ柔軟に対応し、安定した通所に繋げる事ができました。
- 3) 周辺の社会資源を利用しながら買い物や外食の体験などを行う事ができました。
- 4) 新型コロナウイルス感染症拡大によりレクリエーションなど、利用者の楽しむ機会が減りました。

4. 評価と記録の報告

新型コロナウイルス感染症拡大により在宅支援を希望された利用者の方には、行政の意向に沿った計画書を作成し、在宅での就労訓練の内容も記録を行っています。

5. 事故防止

いずれも軽微な事故でしたが支援中に報告書を作成する案件が2件発生しました。また、就労支援事業での販売事故が5件発生しました。販売事故については事後の適切な対応を行う事で大きな問題には発展しませんでした。

6. まとめ

- ・支援については利用者それぞれに沿った意向に基づくサービス展開ができました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、就労支援事業収入を大きく減らしてしまいました。
- ・事業目標通りに就労継続支援 B 型の利用者を増やす事ができたため、支援費収入については増収する事ができました。

職員異動状況 (令和3年3月31日 現在)

| 職種 | 期首 | 採用・異動 | 退職・異動 | 期末 |
|---------------|----|-------|-------|----|
| 管理者・サービス管理責任者 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 職業指導員 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 生活支援員 | 5 | 0 | 0 | 5 |
| 賃金向上達成指導員 | 7 | 2 | 3 | 6 |
| 事務員 | 1 | 1 | 0 | 1 |

【退職及び異動】

賃金向上達成指導員 松尾 佳子 令和3年3月31日(契約満了)
 賃金向上達成指導員 高嶋 鈴 令和3年3月31日(契約満了)
 賃金向上達成指導員 濱野 珠羽 令和3年3月31日(契約満了)

【採用及び異動】

賃金向上達成指導員 檜崎 りん 令和2年12月1日(採用)
 賃金向上達成指導員 丸岡 笑 令和3年3月1日(採用)

就労継続支援A型利用者異動状況 (令和3年3月31日 現在)

| | 期首 | 採用 | 退職 | 期末 |
|----------------|----|----|----|----|
| 療育手帳保持者・男性 | 6 | 0 | 0 | 6 |
| 療育手帳保持者・女性 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 精神障がい者手帳保持者・男性 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 精神障がい者手帳保持者・女性 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 身体障がい者手帳保持者・男性 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 身体障がい者手帳保持者・女性 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 自立支援医療受給者証保持者 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| | 16 | | | 15 |

就労継続支援B型利用者異動状況 (令和3年3月31日 現在)

| | 期首 | 利用開始 | 利用終了 | 期末 |
|----------------|----|------|------|----|
| 療育手帳保持者・男性 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 療育手帳保持者・女性 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 精神障がい者手帳保持者・男性 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 精神障がい者手帳保持者・女性 | 2 | 3 | 0 | 5 |
| 身体障がい者手帳保持者・男性 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 身体障がい者手帳保持者・女性 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自立支援医療受給者証保持者 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | | | 10 |

令和2年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 SunSun

| 月 日 | 参加職員 | 研 修 名 | 研 修 会 場 |
|--------|------|------------------|---------|
| 7月8日 | 北野 | 集団指導 | 吉塚合同庁舎 |
| 7月21日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会運営委員会 | 志摩ふれあい |
| 7月29日 | 北野 | スマイルネットワーク施設長会 | オンライン |
| 9月2日 | 野中 | サービス管理責任者更新研修 | 南近代ビル |
| 9月8日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会運営委員会 | 糸島市役所 |
| 9月17日 | 北野 | スマイルネットワーク施設長会 | オンライン |
| 10月13日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会精神専門部会 | オンライン |
| 11月17日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会運営委員会 | 糸島市役所 |
| 11月19日 | 野中 | HACCP研修 | 伊都文化会館 |
| 11月19日 | 三苦 | スマイルネットワーク研修 | オンライン |
| 11月19日 | 渡邊 | スマイルネットワーク研修 | オンライン |
| 11月19日 | 谷口 | スマイルネットワーク研修 | オンライン |
| 11月19日 | 鳥巢 | スマイルネットワーク研修 | オンライン |
| 11月27日 | 北野 | 糸島市自立支援協議会 | 糸島市役所 |
| 12月23日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会精神専門部会 | オンライン |
| 1月12日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会運営委員会 | あごら |
| 2月5日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会精神専門部会 | オンライン |
| 1月13日 | 北野 | スマイルネットワーク施設長会 | オンライン |
| 2月12日 | 北野 | 新型コロナウイルス感染症対策研修 | オンライン |
| 2月16日 | 北野 | 糸島市自立支援協議会 | オンライン |
| 2月26日 | 野中 | 障がい者雇用調整金説明会 | あいれふ |
| 2月26日 | 三苦 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 2月26日 | 渡邊 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 2月26日 | 谷口 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 2月26日 | 鳥巢 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 2月26日 | 松尾 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 2月26日 | 井手 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 2月26日 | 林 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 2月26日 | 檜崎 | 虐待防止研修 | オンライン |
| 3月9日 | 野中 | 糸島市自立支援協議会運営委員会 | あごら |
| 3月11日 | 山崎 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月12日 | 川本 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月12日 | 古藤 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月12日 | 高嶋 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月12日 | 野中 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月12日 | 北野 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月13日 | 大杉 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月13日 | 丸岡 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月14日 | 濱野 | 虐待防止研修 | USB |
| 3月19日 | 野中 | 福祉サービス苦情解決従事者研修 | オンライン |